

青年・学生の選択肢は 11.3 日比谷だ！

戦争翼賛の総選挙許すな！ 日米統合演習粉碎！



中国侵略戦争突き進む石破打倒

15日に公示された衆院解散総選挙は、戦争＝「2027年米中開戦」(米海軍・航海計画)に向けた総翼賛体制構築のための選挙である。「日米同盟基軸」で石破と完全に一致する立憲民主党、これと「野党共闘」し、党首討論でも戦争問題に一切触れない日本共産党、こういった議会内勢力に、中国侵略戦争を阻止し労働者・学生の未来をひらく選択肢は一切ない。11.3日比谷に結集し、首都を席卷する大デモで石破を打倒することこそが、青年・学生の取るべき唯一の選択肢だ！

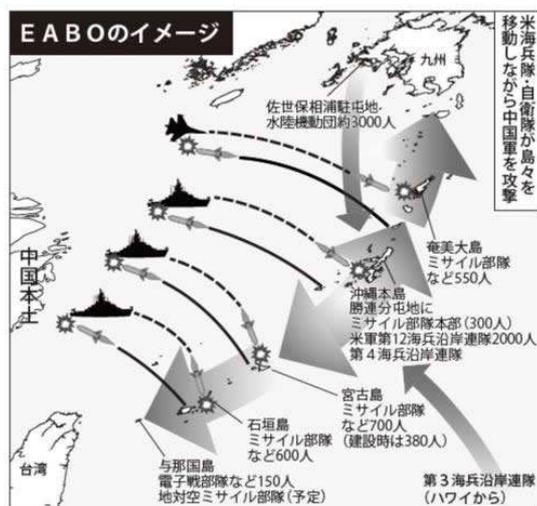
日米大軍事演習＝キーン・ソード 25 許すな

なによりこの総選挙期間中、10月23日からはじまる日米の共同統合演習「キーン・ソード 25」は、初めて中国を「敵国」として名指しした「キーン・エッジ 24」を引き継ぎ、自衛隊約3万3千人、米軍約1万2千人が参加する実動演習＝大軍事演習だ。オーストラリア軍やカナダ軍をはじめ、世界中の「同盟国」が参加し、NATO(北大西洋条約機構)がオブザーバーとして参加する。帝国主義そろいぶみで「中国を打ち負かす」(米国家安全保障戦略)ための戦争訓練であり、これ自体が中国侵略戦争の火蓋を落とすものになりかねない重大な戦争挑発だ。

すでに、主戦場として、九州から沖縄・琉球弧にかけて軍事要塞化・ミサイル基地化が急ピッチですすめられてきた。沖縄・勝連分屯地の地对艦ミサイル連隊を先頭に、宮古、石垣、与那国、奄美に陸上自衛隊のミサイル部隊・計2600人の配備が進められている。「キーン・ソード 25」は自衛隊や米軍の基地にとどまらず、沖縄・九州を中心に全国の民間施設が使われる。不発弾の爆発事故が起きた宮崎空港をふくむ12空港、20港湾がその対象とされ、日本全土が演習の舞台にされる。関西でも京丹後市の米軍経ヶ岬通信所で警護訓練が行われる。

また、石垣島にはウクライナでも使われている高機動ロケット砲システム「ハイマース」も持ち込まれ、EABO(遠征前進基地作戦＝中国軍の防衛ラインを突破するための作戦)を想定した訓練が予定されている。これから開始されようとしている戦争が、日米政府が言うような「中国の脅威」からの防衛でもなければ「自衛戦争」でも何でもないことは、火を見るよりも明らかだ。

※14日、台湾周辺で中国軍が軍事演習「聯合利剣 2024-B」を行った。戦闘機125機、艦艇34隻を動員し、マスコミは「中国の脅威」を喧伝している。しかし、その一方で「キーン・ソード 25」には日米の戦闘機370機、艦艇40隻が動員される予定だ。中国スターリン主義の軍事対抗・台湾包囲は許し難いが、起きていることは米日帝の中国侵略戦争であることに変わりはない。(裏面へ)



沖縄の怒り・パレスチナの怒りを 11.3 へ

日米安保の最大の实体であり、矛盾の集中点であり、中国侵略戦争の出撃拠点とされようとしている沖縄では、人民が「再びの沖縄戦」を許すまいと不屈に闘っている。キーン・ソード 25 に対する怒り、辺野古新基地建設に対する怒り、米兵の少女暴行に対する怒り、そして何より米日帝国主義、石破政権に対する怒りは全島に渦巻いている。今こそ、この怒りと闘いに本土から断固連帯し、11.3 で首都を席卷する安保粉碎・沖縄連帯の大デモを打ちぬこう。

パレスチナ 10.7 蜂起から 1 年を迎え、イスラエル占領下ヨルダン川西岸地区ラマラ市で闘われたデモをはじめ、全世界でパレスチナ連帯の闘いが繰り広げられた。アメリカでは、全国 80 都市以上でデモ。ニューヨークではパレスチナ人団体の「10 月 7 日、ガザとともに立とう」「仕事や学校を休み、街頭に出て行動しよう」との呼びかけに応え、数千人が街頭に出てパレスチナ解放を叫んだ。

日本でも、改憲・戦争阻止！ 大行進が 10.7 闘争を呼び掛け、全学連を先頭にイスラエル大使館へ突撃する実力闘争を打ちぬいた。その後の新宿デモには、この日に合わせてストライキを打ちぬいた労働者・学生が結集。800 人の結集で新宿一帯を解放区とした。11.3 集会は、パレスチナ人民の民族解放の血叫びに真に応え、帝国主義打倒まで闘いぬく労働者・学生が全国・全世界から結集する集会だ。6,000 人の結集で、日本の地からパレスチナの人びとへ、「あいまいさのない連帯」を示そう。



機動隊の阻止線と激突し、イスラエル大使館へ
の実力抗議を叩きつける全学連(10月7日)

10.13 三里塚全国集会 全学連矢嶋新執行部が鮮烈登場

三里塚芝山連合空港反対同盟が主催する全国集会が 10 月 13 日、成田市赤坂公園において開かれ、全国から 480 人が結集した。参加者全員が、市東孝雄さんの南台農地を実力で守り抜く決意を固め、成田空港の軍事化、中国侵略戦争への出撃拠点化を粉碎する気概で、成田ニュータウンをデモ行進した。

集会では、体制を刷新した全学連が鮮烈に登場。新執行部の総意として、「全学連は南台農地死守の決戦を昨年の何倍もの隊列で闘う準備は万全に整った」と断言し、参加者の喝采を浴びた。



11.3 全国労働者総決起集会へ!



11 月 3 日(日)
12 時～日比谷
野外音楽堂

↓ 集会特設 HP



闘争スケジュール

学生は戦争反対・自国政府打倒のデモに立とう!

- ・10.19 京都反戦デモ
10 月 19 日(土) 13 時 三条大橋西側河川敷
- ・10.21 国際反戦デー 京大反戦アピール行動
10 月 21 日(月) 12 時 京大吉田キャンパス時計台前
- ・10.21 国際反戦デー 梅田デモ
10 月 21 日(月) 18 時 30 分 豊崎西公園